

NO!リニア

No. 1 1 2

2019年11月14日

J R 東海労働組合

J R 東海労HP
にアクセス↓



大井川水問題 ポンプアップ 電気代は年間

5兆円!

続編

本紙前号 (No.111) で、南アルプストンネル内湧水のポンプアップで、**0.7トンの水を揚水する電気代だけで年間1兆7,520億円、毎秒2トンの湧水では年間5兆円**かかるとお伝えしました。さて、毎秒0.7トンという数字はどこから出た数字でしょうか。

会社は当初、工事で流失する水はポンプアップで大井川に戻すとしました。しかし、全量をポンプアップした場合、金銭的な問題、技術的な問題、メンテナンスの問題など、さまざまなハードルが待ち構えているのが現実です。

そこで会社は、ポンプアップではなく導水路という案を提示したと考えられます。その導水路を建設したとしても、7割は導水路へ、3割が山梨県に流失してしまいます。その3割が毎秒0.7トンという見積もった数字です。それでも、年間1兆7,520億円の電気代がかかるので、会社が支払える金額ではありません。

しかも、その3割の流失分を導水路で流そうとしても、畑薙山断層を通らざるを得なくなり、畑薙山断層の破碎帯からの湧水がさらに輪をかけ、導水路の建設は工学的に困難です。

大井川への導水路ができればいいじゃないか、という意見もあるかと思われませんが、湧水地点から大井川への合流地点までの区間は、水が枯渇し、貴重な動植物が死滅してしまいます。

結論は、**いずれにしても、経営が成り立たない**ことだけはハッキリしています。

J R 東海ユニオン組合員の皆さん、それでもリニア建設に賛成しますか？